

| No. | 地区 | 項目 | 意見要約 | 市長回答 | 担当課 | 担当課補足 |
|-----|------|-----------------------|--|--|--------------------------|---|
| 1 | 住用地区 | 大雨の際に水がたまりやすい箇所対策について | 大雨災害において、西仲間では水がたまるどころが決まっている。川の排水溝から水が逆流し、湧き水もあり国道が池になるため何とかしてほしい。ポンプを堤防においてたまった水の排水に使っているようだが、それを使えないか。 | 今回は、住用川本流の増水により、支流の水が本流に流れず集落内に氾濫する状況であったと認識しています。川幅や排水機場などのハード整備を県が実施したことにより今回の被害は幸い比較的小さく留められましたが、西仲間集落の川とその合流地点の一角が水につかってしまいました。地域の皆様の防災意識の高さのおかげで人的被害が出なかったことに大変感謝しております。 ポンプの活用といった機械の導入については、県とも議論しながらどういった施策が有効かしっかりと見極め、ハード・ソフトの両方の面から行政と住民の皆様で共に対策を考えていきたいと考えます。 | 土木課 産業建設課 | 住用川は県管理河川で現在も改修事業が継続中です。国道の増水についても県管理のため、今後も県への要望や協議を重ね、支流である市管理河川も含めて、来年度実施に向けて協議しております。 |
| 2 | 住用地区 | 崩落の危険性がある山裾の工事について | 2010年の水害で西仲間の自宅そばの墓の裏山が崩れた。その山に亀裂が入っており、更に崩れ落ちる危険性がある。建設課に地籍調査を依頼したが、写真を撮ってその後音沙汰がない。再度依頼したが、やはり返事がない。地籍調査は順番があり何年後かになるようだが、線状降水帯が発生すればいつ崩落による災害が起きてもおかしくない状況。 摺勝では個人の斜面に建設業者が工事を行い、下役勝や山間でも崩れないように山裾の工事を行っているが、いずれも個人ではなく公共事業でやっていると思う。 災害に強いまちづくりのために、対策をお願いしたい。 | 公共工事をすべき所から優先的に工事しており、西仲間を後回ししているのではなく、必要性を認識しながら順位をつけていると考えます。 市内各地で、県が土地所有者から無償譲渡を受け、県が主体となり工事を行っていますので、地権者や境界の確認のために地籍調査を早く進めることは大事ですが、緊急の対応が必要であれば、市での対応も考えられないか、担当課と連携して検討したいと考えます。 【副市長回答】急傾斜地対策事業は県が行っており、地権者から無償譲渡していただいて行うのが前提です。限られた予算で県全体の事業を優先順位をつけて行っていますが、集落からの要望があれば優先的に行っていきますので、要望の手続きを踏んでいただくことが確実と考えます。 | 産業建設課 (土木課、農 林水産課) | 集落から令和5年7月25日に要望書をいただいたことを受け、現在、事業採択の必要条件などの検討や、地権者についての調査等(字図地域で地籍調査は実施していない箇所)を実施しているところです。 |
| 3 | 住用地区 | 住用川の河川改修について | 2010年の水害以降、県の河川改修が進んだが、今年5月・6月と水害が起こり、河川改修の効果が見えない。住用川のカーブしている箇所の川底に土砂がたまっており、土砂の堆積のため川の水があふれる状況にある。 大がかりではあるが川の形をまっすぐに変えれば、世界遺産であるマングローブも守れるのではないか。また、土砂を除けばリュウキュウアユの生態にも影響が出ると思うが、土砂の除去をどうするか教えてほしい。 | 河川の流れを変えるのは大変だが、土砂を撤去する事業は可能なので県とも連携・協力しながら事業を進めたい。河川の改修は20～40年の長期計画で行っており、限られた予算の中で実施し、またリュウキュウアユの生育に影響がないよう時期を選ぶ必要もあるため時間はかかるが、いただいた意見を検討材料にさせていただき、極力被害が抑えられるよう県と協議を進めたいと思います。 | 土木課 産業建設課 | 補足なし |
| 4 | 住用地区 | 農業用水の整備について | 住用川上流東側は農業用水を引いていないが、農業振興の観点から、奄振事業を活用して住用川東側へ農業用水を引いてほしい。 | 昨年度に同様のご意見に対し、回答を公表しているので参照していただきたい。補助金利用のための様々な要件に該当すれば農業用水整備に向けて進むことはできますが、その要件を満たしているか等の検討を進めるためにも、要望書をいただきたいと思います。 | 産業建設課 | 昨年度の回答のとおり、事業化には一定の規模が必要なため、令和4年11月定例囑託員会にて各囑託員へ共有し、住用管内の他地区においても農業用水整備等の要望があれば知らせてほしい旨依頼しております。 今後各囑託員より意見集約したうえで、事業化適否の検討を行っていきます。 |
| 5 | 住用地区 | 排水溝の改修について | 今の排水溝では大雨の時に水が流れず溢れるので、排水溝を改修してもらえないか。 | 既存の施設の維持管理を適正に行い、市が管理する河川の土砂撤去や、市道や排水溝を大きくするといった対策、また国道の冠水対策のため県との協議を進めていきたいと考えております。 | 土木課 産業建設課 | 補足なし |
| 6 | 住用地区 | 市長の政治姿勢について | 市長をはじめ若い世代に勇気をもって奄美を変えていてもらいたい。 | 時代が変われば政策も変わるので、職員と意識を共有しながら、先輩方が築き上げた土台を少しずつ改善していきたい所存です。今年度は新規事業を40件設けました。前向きに挑戦していく姿勢は維持していきたいので、市民の皆様とも連携し、努力を積み重ねていきたいと考えます。 | 企画調整課 | 補足なし |

| | | | | | | |
|----|------|-----------------------------------|---|---|----------------------------------|--|
| 7 | 住用地区 | 食品等の貯蔵について | 台風時にスーパーの商品がなくなる。島の農産物などの食品を保存できる大きな貯蔵所があれば、災害が発生しても生き延びられるのでは。 | 宮古島市に10数億円かけて整備した農産物等の冷凍・冷蔵貯蔵所がありますが、台風時以外には利用がなく採算が合わない状況と伺っております。 奄美市では民間業者の冷凍・冷蔵コンテナが名瀬港のコンセントを利用して稼働しており、ある程度保存が可能です。 一方で、台風時に島の農産物を本土に送れないという点が大きな課題となっております。 災害に強い島づくりに向けて、いただいたご意見を検討の参考にしたいと考えます。 | 商工政策課 | 補足なし |
| 8 | 住用地区 | 過疎債の活用、部課長会の在り方、住用市域の歯科医、農業振興について | 市町村合併で合併後に調整するとした事項が調整されないまま現在に至る。対等合併であったはずだが、奄美市全体の均衡ある発展に繋がっているか。過疎債は集落の活性化、交通手段の確保等のためのものだが、①過疎債の使い方はどのようになっているか。 ②政治主導による、行政における部課長会の在り方どうか。 ③住用地区の歯科の存続について、地域協議会で協議しているか。 ④農林水産業振興が少子化対策につながる。市が政策を打ち出し、財源を活用しているか。 | 過疎債は計画を作り活用しており、奄美市全体の人口減少幅は抑えられてきています。移住希望者も多いので、引き続き住居確保のため空き家対策などの施策にも努めたいと考えます。 定例の部課長会は情報共有の位置付けです。意思決定の段階、会議の構成は柔軟に行っており、市長3役の意思によるほか部課長の意見も参考にしていますが、改善すべきところがあれば改善していきたいと考えます。 住用地区の歯科も必要だと考えております。現在の先生が長年勤めてくださり、ようやく新任の先生が決まったので、継続していけるようにしたいと考えております。 農業はソフト・ハードの両面で取り組んでおり、いかにして生産額を上げるか、稼げる農業を模索しております。先日視察した先では、高級スーパーでミカンが1個500円、20個入り1箱1万円で販売されていましたが、奄美の農林水産物もこれに負けない売り出し方ができると考え、担当課とも協議を進めているところです。 | ①財政課 ②総務課 ③市民福祉課 ④農林水産課 | ①過疎債を活用している事業としましては、遠距離通学となる高校生に対する通学費補助や、一人暮らしの高齢者に対する配食サービス補助、定住人口増加のための住宅改修など、地域住民へのサービス向上や人口対策等に関する様々な事業を実施しています。 ②補足なし ③歯科診療所の継続につきましては9/1付で新任の先生が着任しております。 ④農林水産業の振興については、農業基盤の整備や森林環境の保全に努めるとともに、営農用ハウスの整備や果樹選果場の利用促進、農地利用の最適化、販路拡大や輸送コスト支援など生産力向上に向けた取組を強化しつつ、次世代を担う農・漁業者の確保・育成に取り組んでいるところです。これらの政策を国・県補助金など様々な財源を活用し実施しているところです。 |
| 9 | 住用地区 | オスプレイの低空飛行について | オスプレイが人家の上で低空飛行を行っていた。 | 人家上空の飛行を避けるよう、引き続き九州防衛局を通じ抗議・要望の声を上げていきたいと思います。 | 総務課 | 奄美市上空での航空機の低空飛行につきましては、米軍機に限らず、市民の皆様からの通報や苦情等を受けた都度、県を通して防衛省などの関係機関へ照会を行っています。照会の結果、米軍機と思われる機体については、九州防衛局から米軍側に住民生活への影響を最小限にとどめるよう申し入れをしているところです。引き続き、市民の皆様の安全・安心の確保を第一に、粘り強く関係機関に要請を重ねながら、対応に努めて参ります。 |
| 10 | 住用地区 | 西仲間集会場の雨戸設置について | 避難所である西仲間集会場の窓ガラスが割れていて避難するのが怖い。雨戸を設置してほしい。 | 市の所有の集会場に関しては、防災に強い改修を実施しています。 【住用総合支所事務所長回答】西仲間集会場は市の所有ですので、調査して対応したいと考えます。 | 地域総務課 | 本市では、自治会等が管理運営を行う集会施設の補修・改修事業に要する経費の一部を予算の範囲内において補助金を交付しております。 改修事業に要する額から10万円を控除した額に3分の2を乗じた額（1,000円未満の端数が生じた場合は、これを1,000円に切り上げる。）を、200万円を限度に補助金として交付しておりますので補助制度の活用をお願いいたします。 なお、西仲間地区の避難施設としては、同集会場の他に住用支所への避難も可能ですので不安に思われる方はご利用ください。 |

| | | | | | | |
|----|------|---------------------|--|---|-----------------------------------|--|
| 11 | 住用地区 | 世界自然遺産と活用した観光振興について | <p>奄美には固有の動植物がある。観光などに関しても若い市長がSNSなどを通じ、率先して計画・実行し、稼ぐ地域を目指してほしい。</p> | <p>住用に世界自然遺産センターが開館し、10か月ほどで来場者が10万人というこれまでの奄美になかった集客力のある施設となっています。そこを拠点に、できる限り自然に負荷をかけない方法で、住用地区の皆様とも連携して新たなルート開拓をしていきたいと考えます。</p> <p>山間集落のハマイヌピワの巨木を往復2～3時間かけて見に行きましたが、こういった自然観察ツアーを1人5万円でやってもお客さんが来る時代になっていません。</p> <p>今年度は国の事業で奄美・沖縄におけるインバウンド向け高付加価値事業も実施します。円安でもあるので、自然遺産を活用した稼ぐ地域創設をのため、腹を決めて、皆で豊かになろうという事業・施策を実施したいと考えます。</p> | <p>紬観光課 世界自然遺産課 産業建設課</p> | <p>令和5年9月に世界自然遺産をいかした「稼ぐ」地域づくり調査業務の委託先の選定がなされたところです。年度末に向けて集落の方にもご協力いただきながら、稼ぐ地域づくりを進めて参ります。</p> |
|----|------|---------------------|--|---|-----------------------------------|--|